

大妻同窓会新潟会報

「前進することが伝統を守ることである」

(創立者言行録)

第2号
発行者 大妻同窓会新潟

つたら言い過ぎになりましようか。更に年代が違う同窓生達が心を通わせることによって新たな道が拓け、これらが時代にふさわしい伝統に繋がっていくことだと思います。そして、同窓生一人ひとりの心の有りようが、母校大妻女子大学の将来に大きな影響を与えることになります。

同窓会の更なる

発展を願つて



代表

長谷川 道
(昭和36年大家卒)

に纏まり、会の目標が明確になりました。山岸名譽教授の講演の中で、「人間は、今生きている人と共に生きている。これが社会的な世界を形成している:集まることで生まれる情熱やこれから的人生の道の選択がある:人と人とが手を携えて体験を積み重ねていくことで希望が生まれる。」とのお言葉が、

夏が長かった今年。屋根を覆うように伸びた柿の枝には、たわわに実った柿の実が田園風景と共に静かに語りかけてい

るようを感じます。

記念会が新生法人に移行し、全国の同窓会も新生同窓会に移行して一年余りが経過しました。これを契機に懇親会後、意見交換会を開催し同窓会の在り方について存分に意見を交わしたその内容は、同窓会は母校の発展に資する組織である。

同窓会で個性の違う人達が集まり、お互いの体験や情熱を語り合うことが出来たのは、大妻の伝統に支えられてのことである。そのため各自の信念と和の心で参加する。



第30回 平成24年定期総会

平成二十四年度の定期総会は、五月十三日(日)、チサンホテル新潟において開催されました。

総会は、通常の議事である過年度

の事業報告、次年度の事業計画案等となります。多数の参加を期待し、皆様をお迎えしたいと思います。どうぞその日までお健やかにと念じ上げます。

来年は、会が発足して三十周年の節目となります。多数の参加を期待し、皆様をお迎えしたいと思います。どうぞその日までお健やかにと念じ上げます。

大学や博物館、加賀寮を訪ねて、自分がかつて目標や夢に向かって勉強していた学生時代に思いを馳せ、オアシスを感じ、希望と温もりを分かち合いましたことを誠に喜ばしく思います。この空気が、会の空気として定着するであろうと信じます。

懇親会では、会話も弾み、和気藹々で瞬く間に時間が過ぎてしましました。多くの会員皆様から聴いてもらい体験していただき、同窓生の和が広がつて欲しいと思いました。

続いて会場をホテルのロビーに移し、大学や博物館見学について忌憚のない意見を出し合い、いずれもすでに終わり、充実した集いとなりました。

総会・講演会を終えて

阿部徳子
(昭和43年短食卒)

母校を訪ねて

片桐美智子
(昭和31年大家卒)



大妻コタカ先生居室前

同窓会からのお誘いで六月一日大妻女子大学、博物館、記念会館、加賀寮を見学してきました。いずれも今姿に接するのは初めてでした。市ヶ谷駅からの景色は変わりました。が思い出深い通学路歩き、気がつけば博物館に着きました。

見学後、大妻女子大学伊藤副学長、真家教授を囲む懇談会で大妻教育の原点を再発見させていただきました。

その後、大学を見学、学生当時とは様変わりしていた学舎に接してわく

わく。大学内は、やっぱり大妻魂強たのに安堵し、パワーを沢山いただきました。

ここから記念会館に移動、井上会長に初めてお会いしたのに学生当時の仲のような和やかな懇談会でした。

昼食後、市ヶ谷駅前の橋を渡り坂を上り、加賀寮に向かう道中でにわか雨に遭い大日本印刷の正門脇で雨宿り、この辺は学生当時の面影を残しながらも景色は変り時の流れを感じました。

加賀寮では、寮生活当時と同じ様な洗濯場にたらいや洗濯板があり懐かしく楽しかった一年近くの寮生活に思いを馳せた。山伏町や柳町のお風呂屋さんやラーメン屋さん、新宿の歌声喫茶で歌っていたことなど。

私は、昭和二十七年春入学。都会では見るもの聞くものすべてが新鮮で青春謳歌の四年間でした。

母校を訪ね

て大妻色に染められたのだ
なあー、と感じられ参加し
てよかったです。
大思っています。
大妻の同窓会のご縁に感謝です。

大妻女子大学等見学のご報告

金安利子
(昭和45年大家卒)



前

母校を訪ね
て大妻色に染
められたのだ
なあー、と感
じられ参加し
てよかったです。
大思っています。
大妻の同窓会のご縁に感謝です。

六月一日、市ヶ谷駅に集合、参加者は六名。

学生時代の通学路を歩き、大妻女子大学博物館へ、伊藤副学長、真家教授と懇談。コタカ先生の居室も移されており館内を案内され記念写真を撮る。大学校舎の見学、昭和の時代とあまりの変わり様、広々として明るくすばらしい、ここで学べる学生は幸せ。

大妻コタカ記念館へ移動、若き日のコタカ先生の胸像が私達をお迎えして下さった。井上会長と懇談、大学を後にした。

市ヶ谷の私学会館レストランで、懐旧談に花を咲かせながら、昼食を取り。

来年三月で閉鎖される加賀寮を訪ねた。寮生活をされた参加者も道に迷う程に時の流れを感じての訪問だった。

大変疲れましたが、とつても有意義な一日でした。懐かしさに浸りましたが帰路につきました。

お知らせ

一大妻女子大学博物館

旧生活科学資料館は、今年四月か

ら、大妻女子大学博物館に名称が変更され、これまで記念会館に置かれていたコタカ先生の居室を博物館内に移されました。

移設された居室は、昭和のノスタ

ルジックな雰囲気を感じつつ、昔を懐かしむことができる空間となっています。常設展では、明治四十一年の私塾開学から現在までの教科書や卒業生の作品、部分縫い雛形ほか展示され、日本人の暮らしの知と美を感じることができます。



常設展 平成24年4月12日(木)~12月22日(土)
平成25年1月10日(木)~1月26日(日)
(開館は木・金・土曜日のみ)

開館時間 10時~16時 入場無料

Tel 03-5275-6025



記念会館内

大妻同窓会

—素敵な時間でした—

渡邊 美栄子
(昭和58年短英卒)

初めて出席したのは発会式の総会で、今年は二十九年ぶりに出席させて頂きました。

今回出席して感じたのは、長谷川代表を筆頭として先輩方がお元気で若々しく、パワーを持っておられる。それと講演してくださった山岸健先生のお話がまた素晴らしい。

先生があれ程パワフルでいらっしゃるのは、先生の信念が教職に就かれてから少しも変わらず、今なお強くなっていることの証と思いました。

先生のお話を理解したとは到底言えないのですが、非常に心が動かされ、心の満足とパワーを頂いたことは確かです。

私は短大英文科で貿易実務や商業英語を学び、会社に入つてから十年

以上輸出入の業務を担当しておりましたので学んだ事全て役立ち、進学がしてしまいます。現在は経営側に居りますが、大妻の校訓「恥を知れ」を誇りに思つてきことで心に芯が定まつたように感じています。

大妻・そして大妻同窓会新潟での全ての出会いに感謝。次の総会で世代を超えて同窓皆様に出会えることを楽しみにしております。

自然から、日常生活から、様々な状況の中で、音、色、香り、五感で感じている全ての事、想念、それが即ち自分自身であり、日々変わっていいる、流れている。また、出会う人からも日々影響を受けて変わっています。今見ている現実は、アンダルを変えると全く違う現実になる。また、

一秒として同じ瞬間は無い。それが非常に大切な事だと。そして、色々な所に行き見聞きし色々な方々にお会いして、ことさら現状に拘らず自分という概念を抜けなさい、というメッセージを感じました。

先生のお話を理解したとは到底言えないのですが、非常に心が動かされ、心の満足とパワーを頂いたことは確かです。

私は短大英文科で貿易実務や商業英語を学び、会社に入つてから十年

以上輸出入の業務を担当しておりましたので学んだ事全て役立ち、進学がしてしまいます。現在は経営側に居りますが、大妻の校訓「恥を知れ」を誇りに思つてきことで心に芯が定まつたように感じています。

大妻・そして大妻同窓会新潟での全ての出会いに感謝。次の総会で世代を超えて同窓皆様に出会えることを楽しみにしております。

会員からのお便り

お知らせ

—大妻女子大学加賀寮—

昨年七十周年を迎えた加賀寮は老朽化に伴い来年三月末をもって閉鎖されることになりました。

左記の期間に見学できます。

三十回目の総会案内を頂き発会当時からのことを懐かしく思い出しました。来年は出席したいと思います。

吉井睦子
(昭和35年大家卒)

九十歳の母が北海道で一人暮らしをしています。弟と交替で様子を見に行っていますが母を見ていると生きている事が「リハビリ」なので人は常に動いていないとダメなのですね。

高田忍
(昭和45年短食卒)

今年七月に念願のマイホームが完成し、娘、息子と三人で大変ですが楽しい毎日を過ごしております。

総会にはご無沙汰ばかりで申し訳ありません。

高橋節子
(昭和46年短被卒)

平成24年3月、学校法人大妻学院からコタカ先生の漫画本が発行され、記念会から会宛に受贈がありました。

見学期間 平成25年3月25日(月)~29日(金)
見学時間 10時~16時
問い合わせ・申込み 記念会事務室
Tel 03-3265-7030
申込締切 平成25年3月9日(土)



読みたい方には1週間位を
目処にお貸します。
申込先 Tel0256-45-2833
(長谷川まで)

(非売品)

平成23年度事業報告書

年月日	内 容 等	
H23.4.11	理 事 会	総会等に関して 総会案内発送
5.9	役 員 会	総会・講演会準備
5.23	定期総会	会場 チサンホテル新潟 出席者 16人 内容 (1)新潟県関係 ①H22年度事業報告・会計報告等 ②H23年度事業計画(案)・同予算(案)等審議事項いすれも可決・承認 ③欠員会計監査1名 可決・承認 新会計監査 石原久美子 (2)記念会関係 会の名称変更に伴う諸般説明 (3)その他 大学・博物館等見学について 講師 大妻女子大学教授 真家 和生先生 演題「大妻コタカ先生のご遺品を整理させていただいて」 自由懇談
6.10	記 念 会	青葉の集い 代表者会議
6.23	理 事 会	記念会主催事業出席報告
9.3	意 見 交 換	記念会の組織変更に関して 新たな会運営に関して
9.11	役 員 会	「支部だより」を「大妻同窓会新潟会報」に変更、決定
10.15	理 事 会	会報編集・特別号発行決定
10.28・11.7・14・28	理 事 会	理事会 会報・特別号編集、校正、発送
H24.3.3	記 念 会	地方同窓会代表者会議
3.14	役 員 会	代表者会議出席報告等
3.25	理 事 会	年度末事務処理

平成25年度 総会開催のご案内

日時 平成25年5月12日(日) 開会 11時頃
閉会 15時頃

会場 チサンホテル新潟
新潟市中央区笹口 プラーカ1

定期総会

次年度総会等、只今検討中です。詳細は、4月初旬ご案内します。ご意見等、お気軽に寄せください。

編集後記

猛暑が続いた夏が過ぎ、秋風が冷たく感じる季節となりました。

多くの方々にご協力いただき、盛り沢山の会報となりました。同窓会本部の事、同窓会新潟の事など皆様方に楽しくご覧いただける事と思います。どうぞお元気でお過ごしください。

役員一同



平成23年度決算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

収入の部		(単位 円)		
項目	予算額	決算額	増 減	備 考

会費納入のお願い

◎1年分の会費 1,000円 入会金 500円
入会を希望される方・お忘れの方は、下記に振り込んでくださいますようお願いいたします。

加入者名 大妻同窓会新潟
郵便振替番号 00540-42280

記入事項 ①姓名(旧姓も) ②住所 ③電話番号
④卒業年・学部・科

◎記念会からの助成金について
助成金の額は、各地方の同窓会費と記念会年会費の双方を納入している人、1人につき500円が交付されます(他に定額も)。記念会に入会されますと、春は「ふるさと通信」、秋には冊子「ふるさと」が届き、母校や記念会・各県の同窓会の様子を知ることができます。記念会の新たな出発を機に、入会されますようご案内いたします。

振込みは、

加入者名 一般財団法人 大妻コタカ記念会
郵便振替口座番号 00170-8-48936

記入事項 上記①~④の他に、生年月日を記入してください。(同姓同名が多いため)